

スキー連盟



会長 亘 宏邦

■ 創立	1983年(昭和58年)9月1日	■
スポーツ協会加盟	1984年 5月17日(12番目の競技団体として加盟)	
歴代会長 真弓 隆	1983年 9月～1994年10月	
関根幸男	1994年10月～2004年10月	
杉山英雄	2004年10月～2014年10月	
矢島悦夫	2014年10月～2018年10月	
■ 亘 宏邦	2018年10月～2022年10月現在	■

蓮田市スポーツ協会創立50周年おめでとうございます。

蓮田市スキー連盟は2023年度に創立40年を迎えるスキーとスノーボードのスノースポーツを楽しんでいる団体です。連盟創立と同時に蓮田市スポーツ協会(前体育協会)へ加盟しております。

連盟も創立し40年を迎えます。長いような短いようなこの40年を振り返りました。

創立は初代会長の真弓隆さんを中心に会員76名で発足しました。市連所属指導者の資格ゼロから始まり、10年目には指導者資格19名、テクニカルプライズ取得者2名となり、会員数も176名と順調に推移しました。その頃は行事も年7回行っており、10周年記念事業としてカナダツアーを行うなど活気あふれる10年間でした。

その後20年目まではバブル景気も弾けてスキー業界も縮小し、行事の参加者の減少によりバスツアーからマイカーでの利用となってまいりました。会員数も一時期は200名を超えましたが、20年には152名と減少傾向となりました。しかし、後半にはカービングスキーやスノーボードの出現により新たな楽しみ方が出てきた時期でもありました。

そして30年目まではちびっこスキーと熟年スキーを中心とした時期でもあり、スキーの全盛期を知っているシニア層がスキーを楽しみ、その子供たち孫たちに活気のある時期でもありました。会員数は131名とどうにか100名オーバーを維持している時期でした。

さて、40年目まではスキーでは前半少々活気がありませんでしたが、その時期中・高校生や大学生が活躍し、そのメンバーが技術選などで活躍するようになりました。またスノーボードでは前半に盛んになり技術選などで好成績も出ている時期となりました。埼玉県には受入れるところも少ないので蓮田市に加盟してくれる人も増えてきましたが、技術志向を個で楽しむ方が多く、連盟仲間の勢いで楽しく滑るということには定着が進みませんでした。しかし今で

はスノーボード指導員も増え、ちびっこスキーではボードの班も設けましたので今後期待したいと思えます。

現在、会員数(2022年7月現在)は98名で100名を切ってしまいましたが、新たに加盟される方もおり、良い形で新陳代謝が図られていると感じます。

連盟にはスキー、スノーボードの公認指導者が34名おり、連盟行事での指導を担当し、安全で楽しい行事の実施にあたっています。

全日本スキー技術員1名も輩出しており、県連には理事、評議員を選出してもおり、教育本部へは役員3名輩出し副本部長、副委員長を担う者など多方面で活躍しております。

現在連盟では雪上行事を12月から4月までの間に、会員の他、一般の参加者も対象にしたものが4回、ジュニア対象としたものを3回実施しております。

一般行事にはスキーが好きなミドルエイジやシニアの方、子育てが一段落してスキー熱が再燃した方や親子でスキーをしたい方が集まります。そして個々の指向に合わせ楽しみ方を提案しております。各行事とも会員を中心としたスキーツアーですが一般の方の参加もお待ちしております。

「ちびっこスキー」行事は人気が高くコロナ禍前はキャンセル待ちとなることもありました。

また、指導者の資格取得を推進し毎年新たな資格者が育っています。強化としては「技術選手権大会」に出場する選手や「プライズテスト」受検者など技術の高みを目指す方のサポートをしております。スキー・スノーボード共に県予選を勝ち抜き、上位大会へ駒を進める選手も多く、若手・中堅の会員が活躍し着実に強化が進んでいると感じております。

そして毎年「級別テスト」を開催して継続した技術の向上やバッジの取得など上級指向への足掛かりを作っています。

今後も選手のサポートやジュニアの育成、楽しいスキー・スノーボードの支援等を多方面に充実して

まいりたいと考えております。

シーズンオフには、自転車愛好家が多数おり、その方々が集まってツーリングや遠征などを行っています。自転車活動からスキー連盟に加盟した方もいるくらいです。その他、週一回程度バドミントンやソフトバレーで汗を流しています。サマースキー（丸沼高原など）に行く方達もいて1年を通じて楽しく身体を動かして汗を流しています。

しかし、ここ2年はコロナ禍により活動の制限もあり厳しい状況でしたが、感染対策を万全にして徐々に再開しています。

連盟40周年の歴史としてウェアで見ると、赤黒白からバブル時代の派手なものからバブル後の地味な色合いに変化し、そして柄物、さわやかな淡いモノトーンなど色々変化が見えます。（写真参照）

最後に、蓮田市スキー連盟ホームページを開設し連盟紹介や行事案内を掲載していますので是非ご覧になってください。

*蓮田市スキー連盟HP

<https://hasuda-ski.sakura.ne.jp/wp/home/>

蓮田市スキー連盟 歴代ウェア

40周年を迎える蓮田市スキー連盟では、揃えたウェアも2023年度で14代目になります。それぞれの時代の流行をよく反映している歴代ウェアをご紹介します。



※14代目 2023～ 40周年記念



2022全日本技術選FR



13代目2020～ 会津たかつえ
さわやかなブルー柄



プロスキーヤーの講演会



12代目2018～ 箕輪 淡いグリーン柄



11代目2015～ 菅平 鮮やかオレンジカラー





10代目2013～ 苗場
マーブルチョコ的イメージ



9代目2011～ 尾瀬岩鞍
ブロック基調のウェア



8代目2009～ 尾瀬岩鞍
ピンク基調 ウェアの機能大進化



7代目2007～ 宝台樹
水色基調の薄い柄



6代目2005～ 苗場
ダークカラーの時代



5代目2002～ アルツ
上級指向憧れの赤黒



4代目1999～ 苗場
ブルーに黒ベスト 蓮田だけのオリジナル



3代目1996～ 尾瀬岩鞍
ジャパンモデル (黄色)



2代目1993～ 宝台樹
鮮やかピンクと銀色



岩岳で活躍選手



連盟初代ウエア1990～ 蔵王
ピンク デモパンが懐かしい



創立時(有志)1987～ 戸隠
準指導員を目指して赤で作成

蓮田市スキー連盟役員名簿 (2022・23年度)

役員

役職	氏名
会長	巨 宏 邦
副会長	岩 崎 修
副会長	高 橋 均
理事長	新 村 浩 幸
常任理事	石 井 伯 夫
常任理事	茅 野 俊 幸
常任理事	佐 藤 大 樹
会 計	小 山 和 男
会 計	小 林 美 穂
理 事	染 谷 智
理 事	古 澤 武 雅
理 事	佐 藤 恵 子
理 事	大 澤 時 男
監 事	松 永 幸 一
監 事	新 田 洋 一
相談役	本 橋 幸 夫
相談役	関 根 幸 男
顧 問	杉 山 英 雄
顧 問	矢 島 悦 夫

委員会名簿

委員会名	責任者	担 当 者
総務委員会	岩 崎 修	石井伯夫 小山和男 古澤武雅 小林美穂
指導・普及委員会	高 橋 均	茅野俊幸 佐藤大樹 大澤時男 染谷 智 佐藤恵子 小林美穂 *指導員 (スキー・スノーボード) 赤澤 由紀 阿部 賢一 阿部 春夫 猪谷 朋章 江田 善光 遠藤恵美子 大澤 時男 大島 純 川辺 直輝 小松原文則 小林 夏奈 佐藤 楓 佐藤 大樹 杉山 英雄 鈴木 芳伸 須田 春夫 関根 幸男 染谷 智 高井 知佳 高橋 均 塚本 正仁 津村 健史 中野 篤 新村 浩幸 茅野 俊幸 新田 洋一 古澤 雅俊 増田 茂樹 町井 孝行 松永 幸一 矢島 悦夫 米島久美子 巨 宏 邦
競技・強化委員会	新 村 浩 幸	佐藤大樹 染谷智 古澤武雅 佐藤恵子 (津村健史 宮沢宏文)